



## 2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年2月7日

上場会社名 OUGホールディングス株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 8041 URL <https://www.oug.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 勝田 昇  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営基盤グループ・CSR担当 (氏名) 中江 一夫 TEL 06-4804-3033  
 四半期報告書提出予定日 2020年2月12日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無  
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第3四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年12月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	249,796	△0.4	2,031	△14.1	2,170	△12.8	1,727	△0.5
2019年3月期第3四半期	250,683	0.5	2,364	6.7	2,487	37.9	1,736	82.8

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 1,189百万円 (△32.5%) 2019年3月期第3四半期 1,763百万円 (61.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	311.21	—
2019年3月期第3四半期	312.71	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第3四半期	98,355	22,548	22.9	4,062.11
2019年3月期	78,657	21,692	27.6	3,907.66

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 22,548百万円 2019年3月期 21,692百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	60.00	60.00
2020年3月期	—	0.00	—		
2020年3月期（予想）				60.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	323,000	△0.7	1,900	△19.6	2,050	△18.2	1,600	△1.1	288.25

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期3Q	5,562,292株	2019年3月期	5,562,292株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	11,484株	2019年3月期	11,002株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期3Q	5,551,041株	2019年3月期3Q	5,551,580株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	4
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報)	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、景気の回復には、中国経済減速の影響等により輸出や生産の一部に弱い動きがみられるものの、企業収益、雇用・所得環境、個人消費、設備投資は総じて堅調であり、全体として緩やかな回復基調にありました。また、消費者心理は、先行き不透明感から、日用品購買を中心に節約志向が依然として続いています。

水産物流通業界におきましては、上期においては、輸入水産物及び国内水産物とも一部高騰魚種については価格調整局面にあったものの総じて調達価格は高い水準にありましたが、下期に入り、価格調整が進行し販売価格は下落傾向にあり、また、サンマ等の不漁により販売数量が減少するなど収益確保が難しい状況にありました。加えて業種・業態の垣根を超えた販売競争が激化するなど厳しい経営環境下にありました。

このような環境にあって、当社グループは、全体最適のグループ経営のもと、販売力・調達力の強化、顧客起点志向の追求、地域に対応したソリューションの提供、業務の効率化、諸経費の削減などに注力し積極的な事業活動を展開してまいりました。

当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高は249,796百万円（前年同四半期比99.6%）となりました。損益面では、売上総利益は18,394百万円（前年同四半期比99.2%）となり、営業利益2,031百万円（前年同四半期比85.9%）、経常利益2,170百万円（前年同四半期比87.2%）、親会社株主に帰属する四半期純利益1,727百万円（前年同四半期比99.5%）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

#### <水産物荷受事業>

中央卸売市場を核とする集荷販売機能をもつ水産物荷受事業は、販売単価は若干上昇したものの取扱数量の減少により売上高155,257百万円（前年同四半期比96.8%）となり、間接経費全般の節減に努めましたが売上総利益率の低下によりセグメント利益898百万円（前年同四半期比64.1%）となりました。

#### <市場外水産物卸売事業>

全国各地を網羅する販売拠点を活かした幅広い流通網をもつ市場外水産物卸売事業は、一部魚種の相場下落等により販売単価は低下したものの販売数量の増加により売上高92,718百万円（前年同四半期比103.7%）となり、売上高の増加、売上総利益率の改善によりセグメント利益439百万円（前年同四半期比195.5%）となりました。

#### <養殖事業>

九州、四国にて、ハマチ、ブリ、マグロの養殖を展開する養殖事業は、販売単価は低下したものの販売数量の増加により売上高7,239百万円（前年同四半期比101.8%）となりましたが、販売費の増加などによりセグメント利益512百万円（前年同四半期比82.4%）となりました。

#### <食品加工事業>

消費地にある食品加工センターにて水産加工、量販店向けにおにぎり等米飯加工などを行う食品加工事業は、販売数量の増加により売上高3,812百万円（前年同四半期比104.5%）となりましたが、一部販売単価の低下によりセグメント損失82百万円（前年同四半期はセグメント損失25百万円）となりました。

#### <物流事業>

物流センターにおいて、搬入された水産物等を量販店等の配送先別に仕分け、自社便にて配送を行う物流事業は、取扱い数量の減少により売上高1,482百万円（前年同四半期比95.7%）、セグメント損失25百万円（前年同四半期はセグメント損失32百万円）となりました。

#### <その他>

グループの水産物流通を補完するリース事業等その他は、売上高4,089百万円（前年同四半期比101.3%）、セグメント利益157百万円（前年同四半期比164.8%）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比べて19,698百万円増加し、98,355百万円となりました。増加の主な要因は、受取手形及び売掛金の増加13,004百万円、たな卸資産の増加5,332百万円によるものであります。

負債は、前連結会計年度末と比べて18,842百万円増加し、75,807百万円となりました。増加の主な要因は、支払手形及び買掛金の増加11,107百万円、借入金の増加7,663百万円によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末と比べて855百万円増加し、22,548百万円（自己資本比率22.9%）となりました。増加の主な要因は、利益剰余金の増加1,481百万円によるものであります。減少の主な要因は、その他有価証券評価差額金の減少550百万円によるものであります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年5月10日に公表いたしました連結業績予想を修正いたしました。なお、詳細につきましては、本日公表いたしました「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,739	4,364
受取手形及び売掛金	32,836	45,840
商品及び製品	23,288	28,662
仕掛品	0	0
原材料及び貯蔵品	398	356
その他	491	659
貸倒引当金	△168	△155
流動資産合計	59,584	79,729
固定資産		
有形固定資産	11,026	11,283
無形固定資産	211	287
投資その他の資産		
投資有価証券	6,306	5,517
その他	1,902	1,849
貸倒引当金	△372	△312
投資その他の資産合計	7,835	7,055
固定資産合計	19,073	18,626
資産合計	78,657	98,355
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	21,635	32,742
短期借入金	17,080	25,109
1年内返済予定の長期借入金	4,693	3,015
未払法人税等	386	208
賞与引当金	729	365
その他	4,061	4,782
流動負債合計	48,587	66,224
固定負債		
長期借入金	4,962	6,274
退職給付に係る負債	2,373	2,410
役員退職慰労引当金	132	123
その他	908	775
固定負債合計	8,377	9,583
負債合計	56,965	75,807
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	6,495	6,495
資本剰余金	6,090	6,090
利益剰余金	7,508	8,990
自己株式	△25	△26
株主資本合計	20,069	21,549
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,034	1,484
繰延ヘッジ損益	4	△0
土地再評価差額金	△356	△443
退職給付に係る調整累計額	△60	△41
その他の包括利益累計額合計	1,623	998
純資産合計	21,692	22,548
負債純資産合計	78,657	98,355

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	250,683	249,796
売上原価	232,134	231,402
売上総利益	18,549	18,394
販売費及び一般管理費	16,185	16,362
営業利益	2,364	2,031
営業外収益		
受取利息	0	2
受取配当金	116	116
補助金収入	38	45
その他	147	150
営業外収益合計	303	315
営業外費用		
支払利息	148	149
その他	31	26
営業外費用合計	180	176
経常利益	2,487	2,170
特別利益		
投資有価証券売却益	64	—
受取保険金	41	7
固定資産売却益	—	331
特別利益合計	105	338
特別損失		
災害による損失	60	60
特別損失合計	60	60
税金等調整前四半期純利益	2,532	2,448
法人税、住民税及び事業税	460	430
法人税等調整額	335	290
法人税等合計	796	720
四半期純利益	1,736	1,727
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,736	1,727

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	1,736	1,727
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	0	△550
繰延ヘッジ損益	10	△5
退職給付に係る調整額	16	18
その他の包括利益合計	27	△537
四半期包括利益	1,763	1,189
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,763	1,189
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)3
	水産物 荷受事業	市場外 水産物 卸売事業	養殖事業 (注)1	食品加工 事業	物流事業	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	153,691	86,804	4,680	1,818	690	247,686	2,997	250,683	—	250,683
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	6,648	2,607	2,429	1,829	858	14,373	1,038	15,411	△15,411	—
計	160,340	89,412	7,110	3,647	1,549	262,059	4,036	266,095	△15,411	250,683
セグメント利益 又は損失(△)	1,401	224	621	△25	△32	2,189	95	2,285	79	2,364

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、リース事業、水産物仲卸事業及び水産物小売事業等を含んでおります。

また、第1四半期連結会計期間より、(株)松浦養殖は重要性が増したため、連結の範囲に含めており、「養殖事業」に含めて表示しております。

2. セグメント利益又は損失の調整額79百万円には、セグメント間取引消去628百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△549百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)3
	水産物 荷受事業	市場外 水産物 卸売事業	養殖事業	食品加工 事業	物流事業	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	148,571	90,432	5,155	1,970	629	246,759	3,036	249,796	—	249,796
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	6,685	2,285	2,083	1,842	852	13,751	1,053	14,804	△14,804	—
計	155,257	92,718	7,239	3,812	1,482	260,511	4,089	264,601	△14,804	249,796
セグメント利益 又は損失(△)	898	439	512	△82	△25	1,742	157	1,900	131	2,031

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、リース事業、水産物仲卸事業及び水産物小売事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額131百万円には、セグメント間取引消去620百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△488百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。